



© 25 SANRIO CO., LTD. APPR. NO. L65682

NIE
教育に
新聞を

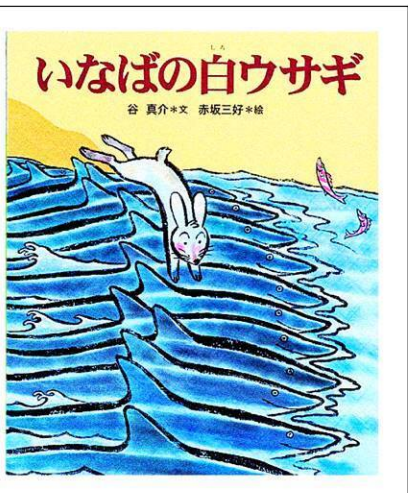
4

小学1・2年生向け

いなばの白ウサギ

谷真介文 赤坂三好絵

昔々、因幡の国（鳥取県）に住む1羽のウサギが嵐の中、大水に襲われ、海まで流されてしまいました。小さな島にたどりついたウサギは何とかして故郷に帰りたいと思いましたが、泳げません。そこでウサギは海で遊ぶサメたちをだまして向こう岸に渡ることになりました。1匹のサメに、ウサギとサメのどちらの数が多いか比べてみないか、と話を持ち掛けたのです。ウサギは集まったサメを1列に並べ、サメの背中から背中へ跳ねながら、「一ぴき、二ぴき、三ぴき…」と数を数え始めました。ところが向こう岸に渡る直前、だまされたことがばれます。怒ったサメにかまれ皮をはがされたウサギが泣いていると、旅をしている神様たちが通りかかりました。



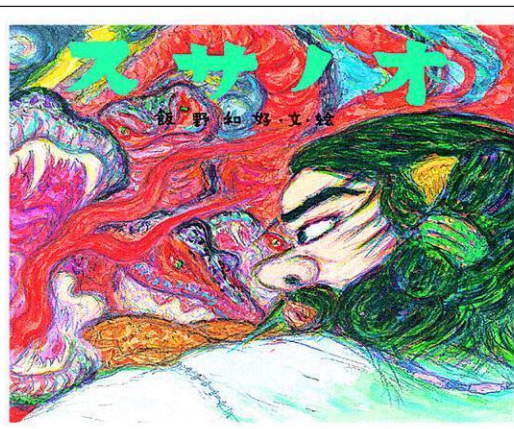
(佼成出版社 1430円)

小学3・4年生向け

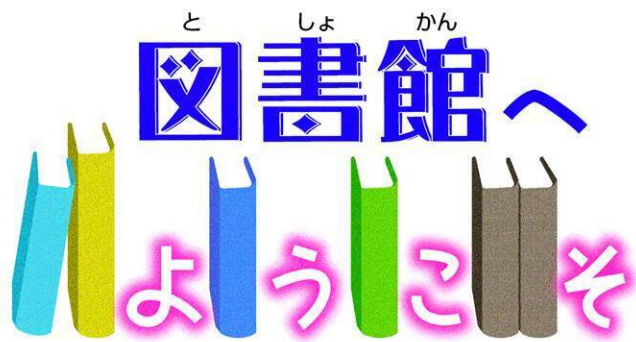
スサノオ

飯野和好文・絵

乱暴者のスサノオは、姉のアマテラスに高天原（天上界）から追い出され、葦原中国（地上界）へやってきました。ある家の前で老夫婦と美しい娘クシナダが泣いているので、理由を尋ねると、八つの頭と尾を持つ八岐大蛇が襲ってくると言います。大蛇に夫婦の7人の娘が食べられ、今回、クシナダを差し出すと聞いたスサノオは、「わたしがその八岐大蛇を退治してやりましょう!」と申し出ます。スサノオは作戦をたて、八つの大きな器に香りの濃い強い酒を用意し、大蛇の頭が入る穴を開けた柵を作りました。空が暗くなり、稲妻が走る中、赤い目をした大きな大蛇がやってきて、酒を飲み始めました。



(パイ インターナショナル 1540円)



日本の神様たちが大活躍

この世の始まりや神々の物語は、世界各地に神話・昔話・伝承として伝えられています。中でも問い合わせが多い「いなばのしろうさぎ」や「やまたのおろち」など、日本に伝わる物語や神々の活躍を描いた本をご紹介します。

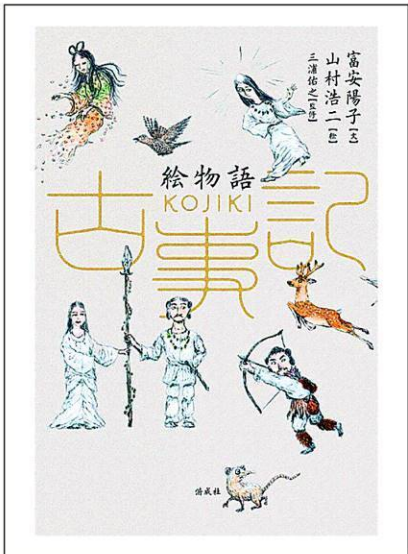
(山梨県立図書館 小林和美) =毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

絵物語古事記

富安陽子文 山村浩二絵 三浦佑之監修

日本の神話をイラスト付きでわかりやすく紹介した本です。その中から「国生み」「黄泉の国」の話を紹介します。大昔、この世の形がまだ定まらない頃、天と地が分かれ、神様が次々に生まれました。最後に生まれた男神イザナキと女神イザナミが国づくりを任せられ、ぶよぶよと大地が漂う海を長い矛でかき混ぜると、小さな島が生まれました。島で結婚したイザナキとイザナミから、四国、九州、本州などの島々や、海の神、食べ物神、火の神など国を守る神々が誕生します。ところがイザナミは火の神を生む時に大やけどを負い、亡くなってしまいます。イザナキは嘆き悲しみ、もう一度イザナミに会いたいと、死者の暮らす黄泉の国に向かいました。



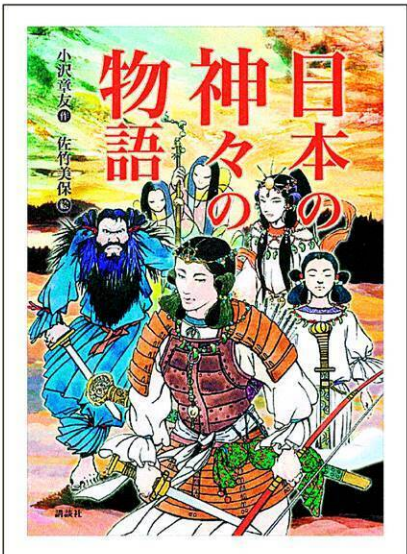
(偕成社 1760円)

中学生向け

日本の神々の物語

小沢章友作 佐竹美保絵

代表的な日本の神話を読んでみたい人におすすめの一冊。第スサノオの乱暴に怒ったアマテラスが天岩屋に隠れた話や、スサノオの八俣の遠呂知退治、アマテラスの孫ニニギの天孫降臨、兄の大事な釣針を探すため弟が海の神の綿津見神の宮を訪ねる海幸山幸の話など、よく知られている神々の活躍が描かれています。倭の国に従わない地域・神々と戦ったヤマトタケルの話には甲斐（山梨県）の酒折宮も登場。後に富士山の神様とされるコノハナノサクヤビメは、美しい女神として描かれ、妊娠を報告したニニギから、自分の子ではないのではと疑われると、燃えさかる炎の中で出産し、ニニギの子であると証明したエピソードが紹介されています。



(講談社 1760円)